

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療問題調査費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～	担当課室	総務課、指導課 救急・周産期医療等対策室	課長:土生 栄二			
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るための検討を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について検討会を開催して、有識者を招聘し検討を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	当初予算	20	20	48	57	42	
	補正予算						
	繰越し等						
	計	20	20	48	57	42	
	執行額	17	12	29			
執行率 (%)	85.0%	60.0%	60.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	報告書の作成、制度改正等への反映	成果実績		報告書骨子案まで作成	報告書の作成	制度改正への意見調整	—
		達成度	%	89	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	医療に関する検討会等の開催数	活動実績 (当初見込み)	回	8回	19回	13回	—
					( )	( )	( )
単位当たりコスト	2,384,615(円/回)		算出根拠	検討会等開催費÷13回			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	12	12	社会保障関係情報化業務庁費の減			
	職員旅費	4	7				
	委員等旅費	10	9				
	庁費	14	14				
	社会保障関係情報化業務庁費	17	0				
	保健福祉調査委託費	0	0				
	計	58	42				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の 要 求	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地域の実情に応じた医療サービスの提供体制を構築することは、広く国民のニーズがあり、優性度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—	—		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等にうちて有識者の意見を得ることは優先度が高い。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	地域の実情に応じた医療サービスを提供するための調査、検討に必要な経費に限定しており、コストの削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途については、真に必要なものに限定して予算計上をしている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	当初の予定回数より議論が早くまとまるなど検討会の開催数自体が見込みより少なかったため。		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物としてまとめられた報告書は各種施策に活用するとともに、HPに掲載されて広く国民が活用できるようになっている。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
点 検 結 果	医療提供体制については、あるべき医療体制の実現にむけて、社会情勢の変化に応じ検討項目も年々増加する中、検討会を開催し提言をとりまとめしていくなど制度改革へ向けた取組を着実に進めている。なお、執行状況等を踏まえて、改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	医療問題調査費については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	社会保障関係情報化業務庁費の減					
備考						
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号:B5-2 社会保障:医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ):国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	38,41	平成23年	0033	平成24年	034

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
29百万円

〔医療体制の一層の質的な充実等を図  
るための検討を行うために必要な経費〕



A. 事務費  
29百万円

〔調査費・諸謝金・委員等旅費等〕

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

A.株式会社エスピー研			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	終末期医療に関する意識等調査	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		3			
計		3	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エスピー研	終末期医療に関する意識等調査	9	2	94.87%
2	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	特定機能病院及び地域医療支援病院に関する実態調査	4	企画競争	
3	個人(複数)	検討会委員謝金	4		
4	個人(複数)	検討会旅費	3		
5	個人A	事務補佐員雇上経費	3		
6	個人(複数)	調査のため職員旅費	3		
7	扶桑速記印刷(株)	議事録作成	1	随意契約	
8	東京ワークショップ	議事録作成	0	随意契約	
9	公益財団法人 全国市長会館	会場借上費用	0	随意契約	
10	大和総合印刷(株)	各種印刷費	0	随意契約	